

(別紙3)

文起第1064号-1
令和6年12月3日

(施設名) 米子市文化ホール
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

令和5年度「米子市文化ホール」指定管理者業務評価書

施設名	米子市文化ホール
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日(3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

○令和5年度は新型コロナウイルスが第5類に移行し、規模縮小となっていた自主事業を従来の規模で開催し、地域の文化芸術事業の開催の機運を高めたことは評価できる。
○年々老朽化していく施設、設備の巡回点検を強化し、不具合に迅速に対処するなど、施設管理に対する取組も評価できる。市が掲げる「歩いて楽しいまちづくり」をテーマとしたイベント等を積極的に企画、実施していただきたい。

【第三者評価】

① 施設について

○和室の畳が替えられると安心して使用できる。
○オープンスペースの樹木は危険だったので、伐採されたことを評価する。

② 管理について

○不具合について迅速に対応しており、問題なしと考えられる。
○文化ホール利用者のための専用駐車場を増やしてほしい。
○身障者用の駐車スペースの利便性が悪い。
○館内が美しく管理されている。

③ 事業について

○利用者が戻りつつあり、良質な企画が行われていると思います。
○駅近のホールということで観光客の来館も多いとのこと。「文化ホールはこんなこともできます」というような発信(SNS等)をしてはどうだろうか。
○利用者アンケートの結果も良好である。
○県、各学校の事業が多く入っているため、利用予約が難しい。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

交通の利便性がよく稼働率の高い施設であることから、今後も利用者が安心して利用できるよう、適切な施設管理を継続していただきたい。

施設、設備の老朽化が進んでいるため、修繕、部品交換等が必要な箇所の確認など、日常の点検をより進めていただきたい。

【第三者評価】

○県外からの利用者も増えているため、文化情報の提供など、もっと広く情報発信してほしい。

○築年数がかなり経ち、きれいに維持はされているが、内部が暗く感じる。壁色の変更など改善できないだろうか。

令和5年度下期「米子市文化ホール」モニタリング評価表 〔令和6年8月〕

施設名	米子市文化ホール	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財) 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
選定方法	—会—募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市文化ホールは中規模ホールをという市民の声を元に市政60周年記念事業として平成3年に建設され、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業（優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供） 年間3回程度 参加型事業（多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供） 年間3回程度 教育普及事業（芸術文化に関する普及活動、情報提供） 年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	A	資料確認・現地確認 適正な陣配置を行い、安全対策に則り接客対応を行っている。
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認・現地確認 テレビ・ラジオ等メディアを使っ ての広報の他、3館のイベント情 報誌 Feel をフルカラーで発行す る等、わかりやすい情報提供が行 われている。
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料確認 利用者の安心・安全を第一に対応 が行われている。
(2) 利用者の要望把握 等	利用者の要望の把握及びその実現策が適切に行われているか	B	資料確認・現地確認 自主事業についてはアンケート用 紙が配布され、要望等の実現策を 検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認・聞き取り確認 職員が自前で行うなど適切に行わ れている。

4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書に沿った自主事業が適切に行われている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料確認・現地確認 老朽化した施設、設備の不具合への迅速な対応や自主事業の充実等により、多くの市民が安心して利用できる環境を整えている。
Ⅱ サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	資料確認・聞き取り確認 引き続き施設周辺、歩道等のゴミ拾いや除草・剪定を行うとともに、花の苗の植え付けを行うなど周囲の環境整備に努めている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・聞き取り確認 利用者に対する対応について適切に行われている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	資料確認・現地確認 地元密着型のイベントを開催。中心市街地のにぎわいを創出することができ、地域の文化振興に寄与する内容であった。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認・現地確認 ホールだけでなく、イベントホール、多目的広場等を活用した多様な事業を行い、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である

【総評（所管課評価）】 5年度は新型コロナウイルス感染拡大の中、米子市音楽祭、ダンスフェス等、規模縮小となったイベントを感染拡大前とほぼ同様の規模で開催した努めた点について評価できる。 また、年々老朽化していく施設、設備の巡回点検を強化し、不具合に迅速に対処するなど、施設管理に対する取組も評価できる。	合計点 (70) 点/ (100) 点 ×100＝ (70) 平均点 (3.5) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分
- A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）
 - B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）
 - C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）
 - D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1～※4 別紙のとおり

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特段なし。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。

補足資料【米子市文化ホール】

モニタリング期間

令和5年

〔令和5年4～令和6年3月〕
〔令和4年4～令和5年3月〕

※1 利用状況

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	312	313	-1	99.7 (%)	
施設利用者数	97,052	59,070	37,982	164.3 (%)	コロナ第5類移行による
施設稼働率	100.0 %	100.0 %	0.0	100.0 (%)	
事業開催数	15	12	3	125.0 (%)	コロナ第5類移行による

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	19,053,896	15,353,379	3,700,517	124.1 (%)	利用件数が増となったため
指定管理料	92,258,000	80,059,000	12,199,000	115.2 (%)	
事業収入	4,686,384	3,297,890	1,388,494	142.1 (%)	事業数が増となったため
補助金及び助成金	0	4,163,519	-4,163,519	0.0 (%)	本年度は燃料費補助がないため
その他	180,989	462,269	-281,280	39.2 (%)	売上手数料が減となったため
合計	116,179,269	103,336,057	12,843,212	112.4 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	38,166,347	38,290,351	-124,004	99.7 (%)	
委託料	25,116,788	25,368,101	-251,313	99.0 (%)	
施設費	34,684,860	29,638,029	5,046,831	117.0 (%)	
事業費	6,951,148	5,947,855	1,003,293	116.9 (%)	
事務局費	13,161,000	7,867,000	5,294,000	167.3 (%)	人員の配置変更のため
合計	118,080,143	107,111,336	10,968,807	110.2 (%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
① 事業収支	-1,900,874	-3,775,279	1,874,405	50.4 (%)	利用件数が増となったため
② 利用料金比率	16.4 %	14.9 %	1.5	110.1 (%)	
③ 人件費比率	32.3 %	35.7 %	-3.4	90.5 (%)	
④ 外部委託費比率	21.3 %	23.7 %	-2.4	89.9 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	1,216.7	1,813.3	-596.6	67.1 (%)	利用者が増となったため
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	950.6	1,355.3	-404.7	70.1 (%)	利用者が増となったため

※ 4 団体等の経営状況

項 目	令和 1 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	備 考
①自己資本比率	62.8 %	44.8 %	55.5 %	61.2 %	54.6 %	
②流動比率	323.6 %	196.3 %	257.0 %	312.3 %	247.8 %	
③固定長期適合率	11.0 %	12.6 %	10.9 %	10.5 %	9.5 %	
④総資産経常利益率	-0.5 %	-8.1 %	8.8 %	3.9 %	2.9 %	
評 価	(以上の指標を参考に評価する。)					